

キャンプファイヤー

ねらい	営火を囲んで火と夜の神秘さにひたり、清らかな心を養うとともに参加者の連帯感を高め、親睦を図る。	
費用	キャンプファイヤー用薪代 1,500円	
対象・人数	小学生以上（150人まで）	
場所	霧島自然ふれあいセンターキャンプ場（営火場）	
準備・用具	<ul style="list-style-type: none"> 貸し出す用具：火床、CD、ぬれぞうきん、バケツ、ポータブルランプ（CD可）、灯油、延長コード、着火ライター 団体の準備：トーチ6本、セリフのカード、懐中電灯 ※ 営火入場から退場までのリハーサルを当日の炊飯活動後半に実施する。	
必要な係	営火長1人、親火1人、子火4人、進行係 ※ 必ず事前に役割分担をする。	
隊形		
実施方法	<p>【内 容】</p> <p>関係者リハーサル(20分程度)</p> <p>〈第1部 迎え火のつどい・15分〉 (静)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会のことば 2 営火入場 (BGM) 〈選曲自由〉 3 ともしびに捧げることば(親火) 4 誓いのことば(親火から子火へ) 5 迎え火のことば(営火長) 6 点火 (親火、子火、営火長) 7 歌「燃えろよ 燃えろ」〈選曲自由〉 <p>〈第2部 交歓のつどい・45分〉 (動)</p> <p>班別の出し物 レクリエーション・ゲーム・ダンス等</p> <p>〈第3部 送り火のつどい・10分〉 (静)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 採火 (営火長、親火、子火) 2 送り火のことば(営火長) 3 歌「今日の日はさようなら」〈選曲自由〉 4 営火退場 5 閉会のことば <p>※ 火床、トーチ等の後始末</p>	<p>【留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽に合わせて、親火、子火4、子火3、営火長、子火2、子火1の順で入場する。 親火がともしびを営火長と子火に分火する。 営火長の合図で、火床に点火する。 みんなで楽しく活動し、交流を深める。 火床からトーチに採火する。 3番まで歌った後、ハミングで火の係が退場する。 <p>※ 火床の火は、ホースの水で確実に消火する。燃え残り等の後始末は、翌朝（清掃時）行う。</p>

キャンプファイヤー（展開例）

《第1部：迎え火のつどい》

※ 参加者入場。「静、動、静の流れ」について、事前に十分指導しておく。
薪を丸く囲む形で席に着く。係は営火場の通路に待機し、親火だけ火をつける。

1 開会のことば（曲（「遠き山に日は落ちて」を流してから）

「ただいまから、（ ）のキャンプファイヤーを始めます。」

2 「営火入場」

「営火入場」

・順番は親火、子火4、子火3、営火長、子火2、子火1の順

3 ともしびに捧げることば

「親火の方は、ともしびにささげることばをお願いします。」

親火のことば

「わたしたち〇〇〇の〇〇は、ここ霧島自然ふれあいセンターにおいて、キャンプファイヤーを行うことができ、うれしく思います。自然の中で共に活動し、寝食を共にする中で、今まで知らなかった友達のすばらしい姿を発見し、自分の姿を見直しながら、さらに、友情を深めたいと思います。今夜は、仲良く楽しく、いつまでも心に残るつどいにし、これを機会に明日からの生活に役立てることを誓い、ともしびにささげることばとします。」

令和〇〇年〇月〇〇日 〇〇代表〇〇 〇〇

4 誓いのことば

「親火の方は、子火に呼びかけて、ともしびを分けてあげてください。」

親火 「強い心と体の持ち主になるために」

子火1 「わたしたちは、心と体をきたえ、どんな苦しみにも負けず、最後までやりぬく強い心と体の持ち主になるよう努めます。」

親火 「豊かな心の持ち主になるために」

子火2 「わたしたちは、自分のことだけでなく、いつも他人の立場を考え、親切で思いやりのある温かい人間になるよう心がけます。」

親火 「いつまでも変わらない友情のために」

子火3 「わたしたちは、このすばらしい友情をさらに深め、これからの人生を共に助け合い、励まし合っていくことを誓います。」

親火 「一日一日に全力を尽くすために」

子火4 「わたしたちは、一日一日を反省し、明日に向かって全力を尽くし、悔いのない毎日をおくすように努めます。」

5 迎え火のことば

「営火長は、迎え火のことばをお願いします。」

営火長のことば

「今夜は、みなさんとうしてキャンプファイヤーを行うことができ、うれしく思います。みなさん一人一人の胸に、情熱の炎が力強く燃えています。今夜のキャンプファイヤーがさらに友情を深め、団結を強め、今後の生活の向上につながることを期待します。そして、いつまでも心のアルバムに残るつどいになることを希望して迎え火のことばとします。」

6 点火

「営火長は、点火の合図をお願いします。」 営火長「点火」

7 歌「燃えろよ燃えろ」

「さあ、みんなで『燃えろよ燃えろ』を歌いましょう。」

「営火退場」（親火を先頭に退場し、ぬれぞうきんで火を消す）

《第2部 交歓のつどい》

「静かな中で第1部のセレモニーが終わりました。これからレクリエーションに入ります。出し物やゲームを大いに楽しみましょう。」

《第3部 送り火のつどい》

※ 係はトーチを持ち、火床の所定の場所で待機する。

1 採火

「ただ今から、第3部送り火の式を始めます。」

「係の皆さんは、採火してください。」係6人で採火する。

2 送り火のことば

「営火長は、送り火のことばをお願いします。」

営火長のことば

「今夜は、楽しくキャンプファイヤーを行うことができました。それは、皆さんの一人一人の心が一つになった証拠だと思えます。このキャンプファイヤーの炎のように、いつまでも変わらぬ情熱と友情の炎を燃やし続け、これからの学校や家庭、地域での生活に生かしていくことを期待して、送り火のことばとします。」

3 歌「今日の日はさようなら」 (3番まで歌った後、ハミングで火の係が退場する。)

「最後にみんなで『今日の日はさようなら』を歌いましょう。3番まで歌ったら、ハミング（ラララ）で続けてください。」

4 営火退場

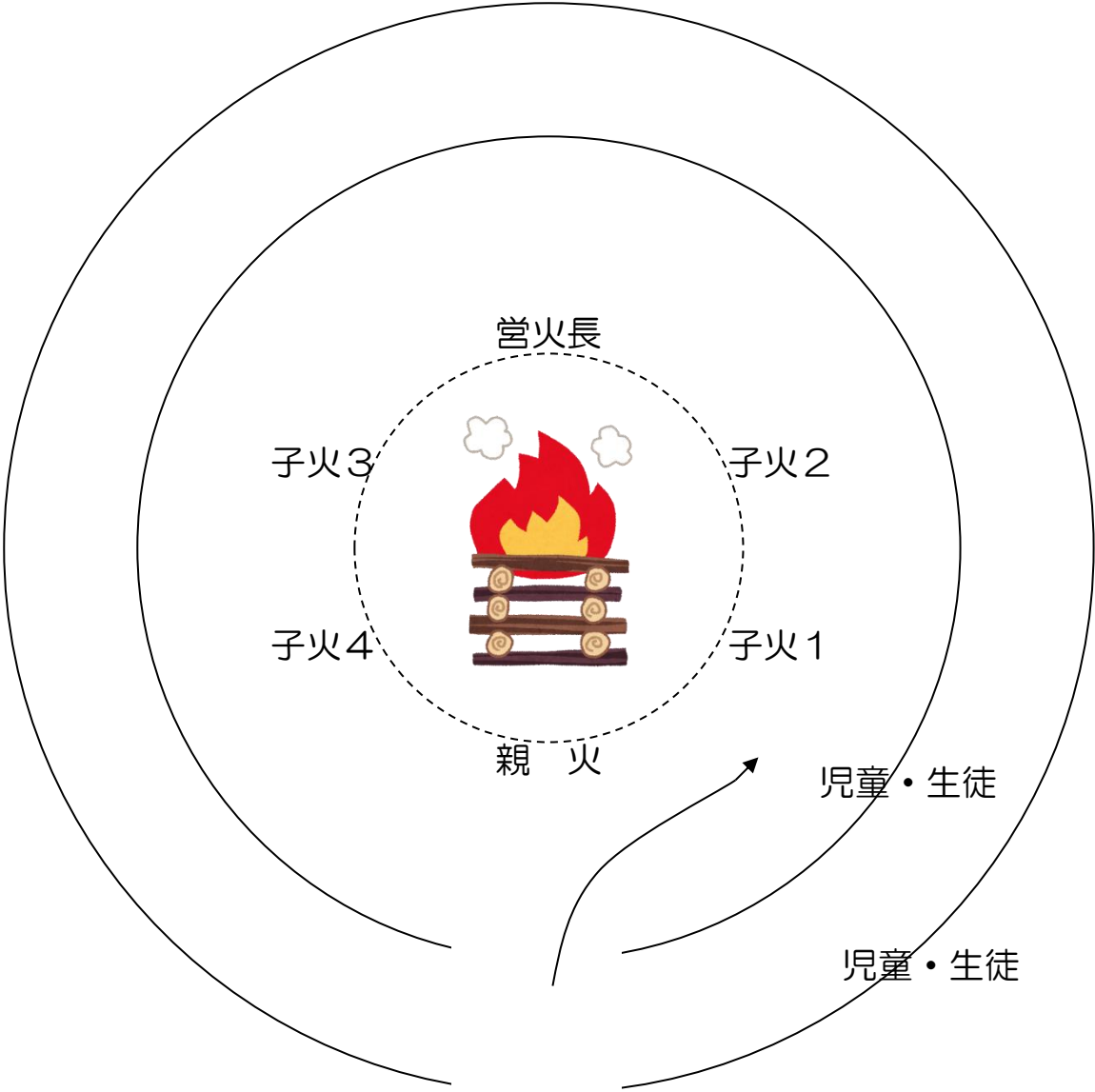
「営火退場」 (親火を先頭に退場し、ぬれそうきんで火を消す)

5 閉会のことば

「以上で〇〇〇〇のキャンプファイヤーのすべてを終わります。」

※ 参加者退場。退場後、火床とトーチに水をかけ、火を完全に消す。

入場時会場図および係員入場方法



係員は入場まで待機する。
親火だけ点火しておく。
ぬれぞうきんを準備する。

この位置より入る。
親火→子火4→子火3→
営火長→子火2→子火1の順に
反時計回りに入って行く。

営火場待機場所

キャンプファイヤー台本（子火用）

親 火 強い心と体の持ち主になるために。

子火1 わたしたちは、心と体をきたえ、どんな苦しみにも負けず、最後までやりぬく強い心と体の持ち主になるよう努めます。

親 火 豊かな心の持ち主になるために。

子火2 わたしたちは、自分のことだけでなく、いつも他人の立場を考え、親切で思いやりのある温かい人間になるよう心がけます。

親 火 いつまでも変わらない友情のために。

子火3 わたしたちは、このすばらしい友情をさらに深め、これからの人生を共に助け合い、^{はげ}励まし合っていくことを誓います。

親 火 一日一日に全力を尽くすために。

子火4 わたしたちは、一日一日を反省し、^{あす}明日に向かって全力を尽くし、^く悔いのない毎日を過ごすように努めます。

キャンプファイヤー台本（営火長用）

営火長（迎え火のことば）

「今夜は、みなさんとこうしてキャンプファイヤーを行うことができ、うれしく思います。みなさん一人一人の胸に、情熱の炎が力強く燃えています。今夜のキャンプファイヤーがさらに友情を深め、団結を強め、今後の生活の向上につながることを期待します。そして、いつまでも心のアルバムに残るつどいになることを希望して迎え火のことばとします。」

営火長（点火の合図）

「点火」

営火長（送り火のことば）

「今夜は、楽しくキャンプファイヤーを行うことができました。それは、皆さんの一人一人の心が一つになった証拠だと思います。このキャンプファイヤーの炎のように、いつまでも変わらぬ情熱と友情の炎を燃やし続け、これからの学校や家庭、地域での生活に生かしていくことを期待して、送り火のことばとします。」

キャンプファイヤー台本（親火用）

親火（ともしびにささげることば）

「わたしたち〇〇〇の〇〇は、ここ霧島自然ふれあいセンターにおいて、キャンプファイヤーを行うことができ、うれしく思います。自然の中で共に活動し、寝食を共にする中で、今まで知らなかった友達のすばらしい姿を発見し、自分の姿を見直しながら、さらに、友情を深めたいと思います。今夜は、仲良く楽しく、いつまでも心に残るつどいにし、これを機会に明日からの生活に役立てることを誓い、ともしびにささげることばとします。」

令和〇〇年〇月〇〇日 〇〇代表〇〇 〇〇

親火→子火（誓いのことば）

親 火 強い心と体の持ち主になるために。

子火1 わたしたちは、心と体をきたえ、どんな苦しみにも負けず、最後までやりぬく強い心と体の持ち主になるよう努めます。

親 火 豊かな心の持ち主になるために。

子火2 わたしたちは、自分のことだけでなく、いつも他人の立場を考え、親切で思いやりのある温かい人間になるよう心がけます。

親 火 いつまでも変わらない友情のために。

子火3 わたしたちは、このすばらしい友情をさらに深め、これからの人生を共に助け合い、励まし合っていくことを誓います。

親 火 一日一日に全力を尽くすために。

子火4 わたしたちは、一日一日を反省し、明日に向かって全力を尽くし、悔いのない毎日を過ごすように努めます。

キャンプファイヤー台本（進行用）

<第1部 迎え火のつどい>

※ 参加者入場

1 開会のことば（CDデッキスイッチONしてから～「遠き山に日は落ちて」～）

「ただいまから、（ ）のキャンプファイヤーを始めます。」

2 営火入場

「営火入場」 親火，子火4，子火3，営火長，子火2，子火1の順

3 ともしびに捧げることば

「親火の方は，ともしびにささげることばをお願いします。」

親火のことば 「わたしたち～とします。」 令和〇〇年〇月〇日 〇〇代表 〇〇 〇〇

4 誓いのことば

「親火の方は，子火に呼びかけてともしびを分けてあげてください。」

親火と子火の誓いのことば 親火→子火1→親火→子火2→親火→子火3→親火→子火4

5 迎え火のことば

「営火長は，迎え火のことばをお願いします。」

営火長のことば 「今夜は，～迎え火のことばとします。」

6 点火

「営火長は，点火の合図をお願いします。」 営火長「点火」

7 歌「燃えろよ燃えろ」

「さあ，みんなで『燃えろよ燃えろ』を歌いましょう。」

「営火退場」

<第2部 交歓のつどい>

「静かな中で第1部のセレモニーが終わりました。これからレクリエーションに入ります。出し物やゲームを大いに楽しみましょう。」

<第3部 送り火のつどい>

1 採火

「ただ今から、第3部送り火の式を始めます。」

「係の皆さんは、採火してください。」

2 送り火のことば

「営火長は、送り火のことばをお願いします。」

営火長のことば 「今夜は、～迎え火のことばとします。」

3 歌「今日の日はさようなら」 (3番まで歌った後、ハミングで火の係が退場する。)

「最後にみんなで『今日の日はさようなら』を歌いましょう。3番

まで歌ったら、ハミング（ラララ）で続けてください。」

4 営火退場 (親火を先頭に退場し、ぬれぞうきんで火を消す。)

「営火退場」

5 閉会のことば

「以上で（ ）のキャンプファイヤーのすべてを終わります。」